

第1回 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 開催結果概要

■日時： 平成23年5月12日（木） 10:05～10:40

■場所： 大阪府庁咲洲庁舎 50階 迎賓会議室

■出席委員

大阪府知事	橋下 徹
堺市長	竹山 修身
羽曳野市長	北川 嗣雄
藤井寺市長	國下 和男
大阪府府民文化部長	福田 昌弘
大阪府教育長	中西 正人
堺市文化観光局長	志摩 哲也
羽曳野市市長公室長	妻谷 彰彦
藤井寺市教育委員会事務局教育部長	間 隆彦

■ 内容

平成22年11月にユネスコ世界遺産暫定一覧表に記載された「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録をめざし、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市の首長をトップとする推進本部会議を立ち上げ、今後登録実現に向けて取り組むべき事業内容や予算等について確認した。

また、知事及び各市長より、大阪初の世界遺産の早期登録を実現するため、4者が一体となって取り組んでいくとの決意が表明された。

■ 会議要旨

1. 開会

(橋下知事挨拶)

おはようございます。

京都・奈良・兵庫・和歌山には世界遺産がありますが、大阪だけありません。

いよいよ、百舌鳥・古市古墳群が世界遺産の登録に向けて、一歩進むかどうかという段階まで来ました。

竹山市長・北川市長・國下市長、そして各市役所の皆さんのこれまでの努力が実って暫定一覧表に掲げられ、もう一歩という段階に来ました。

ある程度時間はかかりますが、なんとかこの大阪に世界遺産を実現したいと思っています。

先ほど記者に、知事はどういう役割なのかと問われたのですが、この世界遺産の登録に関しては、これこそ行政マンの力といいますか、まさに行政行為そのものですから、組織をあげて公務員の皆さんに頑張っていただきたいということを会議で言いたいと答えました。

僕の役割といえば、大阪府民のみなさんに、「この世界遺産登録に向けて、みんなでそういう気持ちをもって応援してね」というメッセージを発することぐらいで、99.9パーセントは行政マンの皆さんの力をもってこの登録ができるかどうかかかってきます。

府庁も市役所も一丸となって、何とかこの登録の実現を果たして下さい。

頑張りましょう。

※出席委員紹介

2. 議事

※推進本部規約第 7 条第 1 項の規定に基づき、竹山堺市長が議長となる。(以下、竹山市長を「議長」という。)

(議長)

- 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた今までの経過と登録の流れについて、簡潔に説明をお願いします。

〔議題 1〕経過報告と世界遺産登録までの流れについて(資料：議題 1)

(事務局)

- 平成 18 年度に文化庁から、世界遺産暫定一覧表の候補について照会があり、府・堺・羽曳野市・藤井寺市の 4 者で、百舌鳥・古市古墳群を「世界文化遺産に相応しいもの」として提案。平成 22 年 11 月に世界遺産暫定一覧表に記載された。
- 現在、日本から 14 件が暫定一覧表に記載されており、順次、条件の整ったものから国がユネスコに推薦していく。
- 今後の流れとしては、第一ステージとして、国がユネスコに提出する推薦書作成のための準備や情報発信のトータルプランの策定とそれに沿った PR を実施していく。
- 第 2 ステージは、国内外の専門家の意見を聞きながら推薦書を作成していくとともに、民間とも連携してさらなる情報発信の強化や資源の活用を図っていく。推薦書を作成し国に提出することで、国内の暫定一覧表の中から百舌鳥・古市古墳群が国から選ばれる対象となる。
- その後の第 3 ステージは、ユネスコの諮問機関であるイコモスの調査が行われ、その評価を踏まえてユネスコが審査し登録が決定する。
- この間、最短でも 5 年間かかるといわれているが、4 者が一体となって取り組むことで、早期登録をめざしていきたいと考える。

(議長)

- 今後、最短でも 5 年必要ということなので、平成 27 年の登録実現を目指して頑張ってもらいたいと思います。
- 次の議題 2 の推進体制については事務局から引き続き説明をお願いします。質問や意見は議題 1、2 併せてお伺いします。

〔議題 2〕推進体制について(資料：議題 2-①、②、③)

(事務局)

- 推進体制について、規約の内容も含めて説明する。
- 府内外に対する広域的な情報発信や気運の醸成を図ること、登録に不可欠なユネスコに提出する推薦書の作成などについては、府と市が合同で実施する。

- ・府と市が合同で実施する事業については、「推進本部会議」で方針を決定し、その下に設置している幹事会が事業を執行していく。幹事会には、役割を分けて協議する部会を設置することを考えている。
- ・さらに広く有識者から専門的な意見を聞くための有識者会議を設けている。また、民間団体等と連携して取り組んでいけるよう、協議会を年内目途に立ち上げる予定とし、オール大阪で盛り上げていきたいと考えている。
- ・世界遺産に登録するためには、世界から世界遺産にふさわしい資産であるということを確認していただくことが重要。そのため、学術的な面からの価値の証明、景観や来訪者に配慮した街づくりなどの面で専門家の意見を伺いながら進めていく必要がある。
- ・これまで、暫定一覧表記載に向けて有識者会議を設置し、助言などをいただきながら進めてきたところ。本登録を目指すにあたって、よりいっそう有識者のご意見を聞きしながら進めることが必要なので、規約第9条第1項の規定に基づき、本部会議に有識者会議を設置するもの。
- ・メンバーについては、暫定一覧表記載にあたり尽力いただいた方々に引き続きお願いしたいと考えている。

(議長)

- ・それでは、議題1及び議題2に関して、意見・質問をお願いします

(橋下知事)

- ・登録ということなので、本当に行政行為になると思うのだが、気運が盛り上がっているというのも登録の要素になるのですね。
- ・そうであれば、それは僕らの役割になりますね。登録までの間に色んなイベントを実施したり。

(事務局)

- ・府民、日本国民の方々に知っていただくことで、気運の醸成につながります。

※議題1及び議題2について了承

(議長)

- ・有識者会議、協議会、事務局に関して必要な事項は、本日の議事を踏まえ、本部長が定めさせていただきたい。
- ・続いて議題3、事業計画と予算及びスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

〔議題3〕平成23年度事業計画（案）及び予算（案）について（資料：議題3-①、②、③）

(事務局)

- ・平成23年度は、登録に向けた第一ステップであるため、まずは、今般設置した推進本部会議を含む推進体制を運営していく。
- ・民間団体を含む「協議会」の年内の設置に向けて、世界遺産の登録が大阪にもた

らす効果や将来のビジョンなどを“資産活用プラン”として取りまとめ、各方面の皆様と議論し共有していきたいと考えている。

- 次に、魅力創出・情報発信に向けた事業だが、具体的には、ターゲットに沿った効果的な情報発信ができるようプランを作成し、それに基づいて PR を実施することや、国内外の多くの人にアピールしていくことを考えている。
- さらに、推薦書作成に必要な調査・研究を行う。
- 以上の事業に関する予算（案）については、3千315万5千円となっている。

※特に意見・質問なく、議題3について承認

(議長)

- それでは、平成23年度の事業計画と予算について了承されたので、この内容に従い、今後事業を実施してまいります。
- 本日の議題は以上ですが、最後に百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けて各市長の皆様から決意を頂きたいと思っております。

〔決意表明〕

(橋下知事)

- 私は、冒頭のあいさつで申し上げたということでお願いします。頑張りましょう。

(北川市長)

- 大阪府並びに橋下知事の尽力により、本日、推進本部会議を立ち上げていただき、本当にありがとうございます。今後ともよろしく願います。
- また、当推進本部の本部長を務めていただく堺市の竹山市長におかれては、大変苦勞をおかけしますが、どうぞよろしく願います。私も藤井寺市の國下市長さんとともにしっかりとサポートさせていただきたいと思っています。
- 市民のみなさんの気運をどのような形で醸成していくのか、また古墳を活かしたまちづくりをどのように進めていくのか、ということがひとつの大きな課題になってくるかと考えています。
- 羽曳野・藤井寺には、ご承知のとおり大小の古墳が100以上あり、古墳と一緒に生活してきたといっても過言ではありません。
- こういった独特の市民感情があることから、よりいっそう世界遺産の早期登録に向けて頑張っていきたい。
- 2つめは古墳を活かしたまちづくりについて。羽曳野市には、仁徳天皇のお父さんであります応神天皇陵古墳があり、そのそばに誉田中学校がある。この中学は100年以上の歴史をもつ中学であり、耐震調査を実施したところ、建て替えということとなり、今年度基本計画を立てることとなっています。
- それに対し私は、古墳を活かした学校づくりについて指示をした。今までのような鉄筋の校舎ではなく、まさにその横を走っている東高野街道、そして応神天皇陵古墳に合わせた校舎を作っていきたい。
- 是非また、知事におかれましてもお力添えいただきたい。
- 藤井寺市さんと一緒になり、市民のみなさんの気運をいかに醸成させるのかとい

うことに最大限の努力をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

(議長)

- 藤井寺市の國下市長がまだ到着していませんので、次に私から決意表明させていただきます。
- 本当にうれしく思います。大阪府と3市が一緒になって、本部会議を運営することができるようになりました。
- 私どもは、仁徳さん、履中さん、反正さんと「さん」付けて呼んでいまして、本当に市民と天皇陵古墳が共存しています。そのような市民に愛される天皇陵古墳を世界の人に見てもらいたい。そしてこの仁徳天皇陵古墳は、世界三大墳墓といわれており、面積では一番大きな墳墓であります。この墳墓を世界に是非発信したい。
- 平泉と小笠原諸島はイコモスの勧告があり、世界遺産に登録される見込みであります。東日本が震災を受けているときに、平泉と小笠原が登録されるということは、東日本の人々にとっても非常に元気を与えるものと思っています。
- そして次は、百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産の登録を受けて、西日本から日本全体を元気にしていくという取り組みを進めたい。
- 是非、これからは関経連や同友会や大商、堺商工会議所などの経済界を巻き込んでやっていきたい。民間も我々も一緒になって気運作りをしていきたいと思っていますので、皆様方にも協力をお願いしたい。

※ 藤井寺市長到着まで意見交換

(議長)

- 今、堺で世界遺産登録ための一番の課題は、緩衝地帯をどうするかということ。古墳の周りに民家がずらっとつながっているなので、その緩衝地帯、バッファゾーンといいます。それをどうしていくのかというのが課題。
- それと古墳の見せ方。どういうところから古墳を見ていただけるかというビューポイントを作っていくこと。
- それとガイダンス施設。天皇家の陵墓でありますので入れませんが、古墳に入ったように体感できるようなガイダンス施設も是非作りたいと思っています。
- そして、百舌鳥野を体感できるというような、大きなマスタープランを描いていきたい。

(北川市長)

- ガイダンス施設は、私どもも応神天皇陵古墳の横にある、誉田中学校のグラウンドにそんな大きな規模ではないものを建設したいと強く思っているところです。史跡指定となる予定の所なので、ガイダンス施設の整備について、府文化財保護課を通じて文化庁に相談しているところです。またお力添えいただきたい。ガイダンスの設置は、これから非常に必要になってくると思っています。

(橋下知事)

- 施設については、堺市さんとか羽曳野市さんとか、市に任せておくのではなくて、予算面も含めて共同でできれば。
- これ、もう世界遺産ということになれば、大阪の宝ですからぜひ共同で。
- もし、独自でされるということでありましたら別ですが、必要性があればぜひ共同でと思っている。

(竹山市長・北川市長)

- ありがとうございます。

(橋下知事)

- ちょっと事務的なことだが、世界遺産の登録で、早く登録を受けたところと時間がかかったところで、何が影響したのかということはわかっているのですか。
- 遅れたのはこういうことがあったから、早いところはこういう感じだったからタッタタッタと進んだということについて分析していますか。

(事務局)

- 平成 18 年に初めて公募されたが、自治体から推薦したもので世界遺産になったというものはまだない。今までは、全て国が自ら選んだものが世界遺産になっている。
- 平泉は暫定一覧表に載ってから 10 年かかっており、石見銀山で 6 年、熊野古道が 3 年と長い短いはある。
- 特に平泉の場合は、ユネスコとの協議の中で、なかなか世界遺産としての位置づけがわかりにくいという指摘があり、一回保留にされた。
- やはり、どう価値があるかということ、世界の方からわかりやすい形で証明していくということがポイントのひとつ。
- 2 つ目は、地元がいかに盛り上げてやっていくかということもポイントである。

(知事)

- 登録というふうに聞いていたので、いわゆる様式があり、非常に行政的な行為なのかと思っていましたが、結局世界から見てわかりやすいということと、地元の意気込みなんですね。

(事務局)

- 今でも 10 年以上登録されていないものもあるが、そういうところは、関係自治体で、どういうものを対象にしていくのかなど考え方が違うということもある。このあたりを地元が一体となってやっていくことが必要。

(議長)

- 國下藤井寺市長が到着されたので、本部会議に際しての決意をお願いします。

(國下市長)

- 大変遅れまして申し訳ございません。

- 藤井寺市は大阪府で最も小さいまちであるが、文化遺産については、皆様方もご承知のとおり、大王の古墳が5基あります。
- そういったなかで、ぜひ世界遺産登録を実現したい。
- 今回、推進本部会議が設置されたことで、世界遺産登録に向けて非常に加速度的に前進するのではないかと思っている。橋下知事を中心に、堺市ならびに羽曳野市ともども頑張っていきたい。
- 今までは、堺市さんに頼っていましたが、これからはそういうわけにはいかない。
- これからも、大阪府の橋下知事を中心として、この3市がまとまって世界遺産に向けて、加速度的に前進していきたい。
- マスコミ等を通じてPRをしていただければ、非常にありがたい。
- これからも小さいまちではありますが、頑張ってまいりたいので、よろしくお願いいたします。

(議長)

- それでは、最後に、市長及び知事で決意の握手をして、大阪、日本に、世界にアピールをしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

※ 知事・3市長が握手

(事務局)

- 本日、本部会議で決定・指示された事項については、この後、幹事会で審議・執行してまいりたいので、引き続きよろしくお願いいたします。

3. 閉会